

市政を問

# 平成30年 第2回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は一般質問を行った各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問が行われた順番に掲載しています。

## 西国分寺駅東側地区を有効利用すべし !!

自民党新政会 吉田 りゅうじ



▼小中一貫教育について市の考えを聞く  
**【問】** 小学校生活から中学校生活への移行期には、誰でも緊張と不安を感じる。新しい環境になじめず不登校やいじめが発生する現象を所謂「中一ギャップ」と呼ぶが、市の考えは？  
**【答】** 「中一ギャップ」の未然防止を図るために、これまでも様々な取組をしてきた。環境変化を乗り越えることも発達段階で必要なことであり、子ども一人一人の思いに寄り添いながら、安心して安全に学校生活が過ごせるように指導・支援していくことが大切であると考えている。  
**【問】** 中学校入学では、複数の小学校から知らない同級生が集まってくることもストレスの一因である。そろそろ小中一貫教育について、一歩踏み出す時期に到達していると考えているが？

**【答】** 現在は小中連携教育をさらに確かなものにしていくための取組を充実させていくことが重要であると考えている。  
 ▼シルバー人材センターには更に活躍されたい  
**【問】** 現下、雇用情勢は好転を維持しており、65歳を超えても働く意思を持つ高齢者は増えている。しかし、シルバー人材センターにおいて会員数は減少、指定管理もLホール、いきいきセンターの管理は契約終了となるなど先行き不透明な部分も多くある。市とセンターでしっかりと情報共有し、地域共生を推進して戴きたい。  
**【答】** 現在の軽作業だけではなく、現役時代に培ったホワイトカラーのスキルや能力を活かしてシルバーでの就労を進める可能性はある。あらゆる人が活躍する社会の実現として、高齢者

がいつまでも健康で意欲を持ち活躍していただけるよう市としても取り組んでいく。  
 ▼西国分寺駅東側地区を有効に活用すべき！  
**【問】** 東側周辺地区にお住まいの方で改札口新設に反対されるケースはととても考えにくい。鉄道事業者側から改札口を作りたくなる方策、例えば近隣で言えば国立駅や武蔵境駅のように鉄道事業者の運営する商業施設との併設により改札口を設置戴くなどの方策も考えられる。更には現在の交通広場や市有地を活用して市役所の新庁舎を鉄道駅舎に隣設するのは如何か？  
**【答】** 鉄道事業者自らが東口改札の必要性を感じられるよう魅力あるまちづくりを進めていく。また、庁舎と他の施設との複合化についてはメリットデメリットを比較検討していく必要がある。

## ペアレントメンター事業いよいよ一歩前進へ

公明党 さの 久美子



1. 地域共生社会構築のために  
 さの) 育児と介護が同時におこるダブルケア。まず市職員への育児・介護等の休暇制度の冊子の周知と工夫が必要である。今後、複合的な相談体制が必要となるが、ダブルケア相談窓口の設置を検討してほしい。市) 職員にはダブルケア問題も含め、さらに周知したい。来年度に向け、ダブルケアも含めた複合課題に対応する総合相談支援体制を検討中。健康部・福祉部・子ども家庭部の3部の連携により整備する方針。  
 2. 切れ目ない子育て支援について  
 さの) 昨年7月に開始した「ゆりかごこくぶんじ」事業はまだ面接に至らない方が多いが、全妊婦さんの面接をめざしてほしい。妊娠から出産、子育てまで一貫して同じ場所で相談でき、

切れ目ない支援を実施するのが、子育て世代包括支援センター。日本版ネウボラ構築のために全力で取り組み願いたい。市) 早期に妊婦さんに関わることは重要。保健師を中心とした複数の職種を配置し、来年度開設めざし準備する。  
 3. ペアレントメンターについて  
 さの) ようやく東京都がペアレントメンター育成・派遣事業を開始した。国分寺として今年度どう取り組むのか。市) 今年度、制度を活用し、候補者の選出を図っていききたい。さの) ペアレントメンター事業が前進する年にしてほしい。  
 4. 安全・安心のまちづくりについて  
 さの) 「ブロック塀」は災害時、危険で改善すべきという声が多い。市にはブロック塀等撤去工事助成事業がある。地域の防災情報地図等を

活用し、ピンポイントで周知、急ぎ事業を進める必要あり。市) この制度をまず知ってもらうことが事業を進めるポイント。市独自の調査は限界があり、地元の調査情報に関連させたい。  
 5. 認知症対策について  
 さの) コンビニと締結した見守り協定をもっと活用し、積極的に情報交換するなど認知症の方を見守る体制づくりをするべき。市) 市が橋渡し役となり、地域包括支援センターとの円滑な連携を図れるよう対応したい。さの) フレイルとは虚弱を指すが、早期の気づきと適切な対応が大事。身近な場所でフレイルチェックできるシステム構築を求める。市) 地域包括支援センター主体でフレイル予防をテーマに体力測定会を随時地域で開催し、フレイル予防に取り組む。

## 解体工事にもルールを！SDGs推進へ

国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎



**建築物の解体工事について**  
 だて) 住宅などの解体工事に際しては騒音、振動等が発生する。多くの事業者は周囲への配慮のもと工事を行っているが近隣トラブルとなるケースも多い。市はどのように対応しているか。市) 市民から連絡を受けた際には、現地確認を行い、防音対策等に不備があれば指導している。だて) 短期間だからと我慢している方も多くいると思う。今後さらに住宅等の建て替えが増加し、解体工事も増えていく見込みの中、トラブル抑止のため、近隣への丁寧な事前説明や防音防震対策等、周辺への配慮をルール化していく事が市民の安心のため必要と考えるがいかがか。市) 国分寺市としての独自規制や届出の強化など、すでに行っている他自治体の事例等も参考

に研究を行って参りたい。  
**SDGs (持続可能な開発目標について)**  
 だて) 2015年に国連サミットで全会一致にて採択されたSDGs (エスディーゼーズ) は貧困や差別の撲滅、ジェンダー、環境、経済、まちづくり等、2030年までの達成を目指した17の全世界的目標を定めたものである。日本政府も推進本部を設置するなど取組みを始めており、各自治体に期待される役割も大きい。本市においてSDGsをどう捉え、推進していくか伺う。市) 平和で豊かな地球を持続していくために大変意義のある内容であると市としても認識している。これまでも温暖化防止などSDGsの掲げる内容と同趣旨の取組みを行っている。だて) 市民や職員の皆さんへの浸透がまだ進ん

でいない状況がある。まずSDGsの考え方を知ってもらう事がスタートであり、機会を捉え周知を。特に次の世代を担う子どもたちへの啓発は重要となるのでお願いしたい。  
**教育長) 国際社会を生きる子どもたちにも大切な内容。教科横断的な視点で取り組んでいく。**  
**未返却図書について**  
 だて) 先日、足立区が未返却の図書2万冊の返却を断念したという新聞報道があった。当市の未返却図書の状況はどうか。市) 約2千冊の本が長期間にわたり未返却。だて) 図書館管理の委託業者の知見も活用しながら返却率向上と未然防止策の検討を要請する。  
 ※このほかに子どもの見守りと危機管理マニュアルについて質問を致しました。

### 次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成30年第3回定例会は、8月31日(金)から開会の予定です。  
 議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。  
 \*本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

### 請願・陳情の署名簿について

請願・陳情を提出するにあたり、署名簿を添付される場合においては、必ず【注意事項】を記載していただくようになります。この書式は、平成30年第4回定例会の新規の請願・陳情提出(9月27日(木)以降受付)から適用になります。  
 なお、書式例を市議会ホームページにも掲載していますのでご確認ください。  
 詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

### 請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます

市民の皆様への行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。  
 請願・陳情はいつでも提出できますが、平成30年第3回定例会(8月31日開会予定)からの審議を希望する方は、8月13日(月)までに直接議会事務局へお持ちください。